

第4回 草津市 草津川跡地利用基本計画検討委員会 資料

目 次

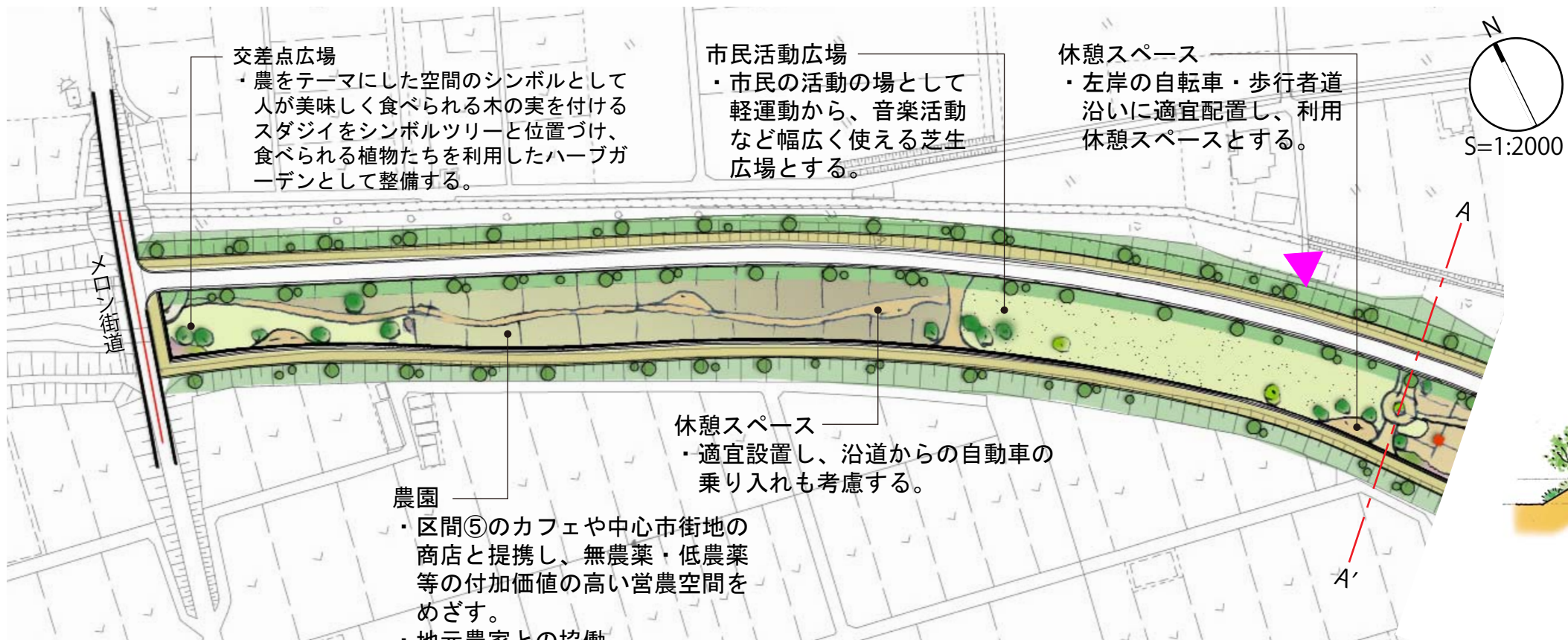
1. 基本計画の内容検討	
(1) 区間②～⑥の整備施設例と整備イメージ案.....	1
(2) マンポ周辺の整備イメージ.....	10
2. 草津川跡地の事業計画と維持管理計画について	
(1) 持続可能なにぎわい空間の創出に向けて.....	11
(2) 事業推進体制(エリアマネジメントの全体フレーム).....	12
(4) 市民参加のまちづくり.....	13
(6) 民間によるにぎわい施設の導入に向けて.....	15
<参考資料> エリアマネジメントによる各種事業.....	16

1. (1) 区間②～⑥の整備施設例と整備イメージ案

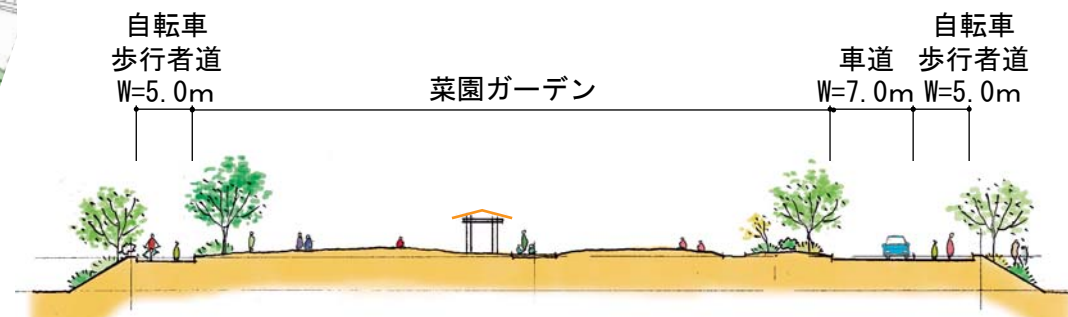


区 間	区間 2	区間 3	区間 4	区間 5	区間 6
基本構想テーマ	農と関わり自然を学ぶ緑	身近に憩いやすらぐ緑	人が集いスポーツに親しむ緑	人と出会い歴史を伝えるにぎわいと緑	連携と協働による緑
緑 軸 の メインテーマ	<p>＜エコ・ファームガーデン＞ ———— ＜エコ・ウェルネスガーデン＞ ———— ＜バイオ・ガーデン＞ ———— ＜マルシェガーデン＞ ———— ＜ナチュラルガーデン＞</p> <p>※緑軸は、各テーマに合わせ堤体の法面や跡地全体を利用して全区間において表現する。※結節点となる交差点はシンボルとなる空間整備を行う。</p>				
整備施設例	<ul style="list-style-type: none"> ■菜園コミュニティ ■キッチンガーデン ■スクールガーデン 	<ul style="list-style-type: none"> ■自然環境学習広場 ■公園駐車場(芝生広場) ■市民の森づくり ■健康広場(ゲラトゴルフ、ゲートボール、フットサルなど) 	<ul style="list-style-type: none"> ■エコパーク ・既存公園の機能を拡充し自然エネルギーを体感できる公園として整備 	<ul style="list-style-type: none"> ■各種テーマガーデン テラスガーデン(眺望)、ハーブガーデン、ロックガーデン、せせらぎガーデン ■マルシェ広場(市場) ■イベント広場(宿場まつり、七夕祭り、街あかりなど) 	<ul style="list-style-type: none"> ■旧東海道をテーマにした街道の整備 ■観光駐車場
市民活動例	<ul style="list-style-type: none"> ・菜園講座、菜園サークル ・食育サークル 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティガーデン活動 ・里山、自然学習活動 ・軽スポーツサークル 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキングサークル ・絵画サークル ・エコロジ-サークル 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動(イベント開催など) ・写真サークル ・演劇サークル ・音楽サークル 	
エリアマネジメントによる 収益事業例	<ul style="list-style-type: none"> ■ふれあい牧場 ■農園(カフェと提携) ■貸し農園(菜園ガーデン) ・駐車場 ・管理棟(研修室、カフェ) 	<ul style="list-style-type: none"> ■マルシェ広場 ■屋外アートスペース ■フットサル場 ■自然ふれあい広場 	<ul style="list-style-type: none"> ■エコシティー ・環境共生に特化した民間開発の誘致 ■カフェ ■観光駐車場(大型バス6台) 	<ul style="list-style-type: none"> ■カフェ ■駐車場 ■セレクトショップ ■レンタサイクル ■野外小劇場 ■各種イベント 	<ul style="list-style-type: none"> ■駐車場
防 災 対 応	<ul style="list-style-type: none"> ■一次避難場所(跡地内の各所に地域コミュニティの中心となる広場を設け日常的な利用を災害時対応に活かす)、■防災訓練、■延焼防止帯 				
道 路 機 能	<ul style="list-style-type: none"> メロン街道 	<ul style="list-style-type: none"> 車道・歩道・自転車道 	<ul style="list-style-type: none"> 大江霊仙寺線との接続 	<ul style="list-style-type: none"> 緊急時対応道路 自転車・歩行者 国道と県道交差点改良 	<ul style="list-style-type: none"> 車道・歩道 県道と草津川堤防道路との接続

1. (1) 区間②~⑥の整備施設例と整備イメージ~区間②



※ ▲ は、堤体への進入路を示す。
基本的には、既存の取付部分の改修、改良を行うものとする。



断面イメージ

交差点広場

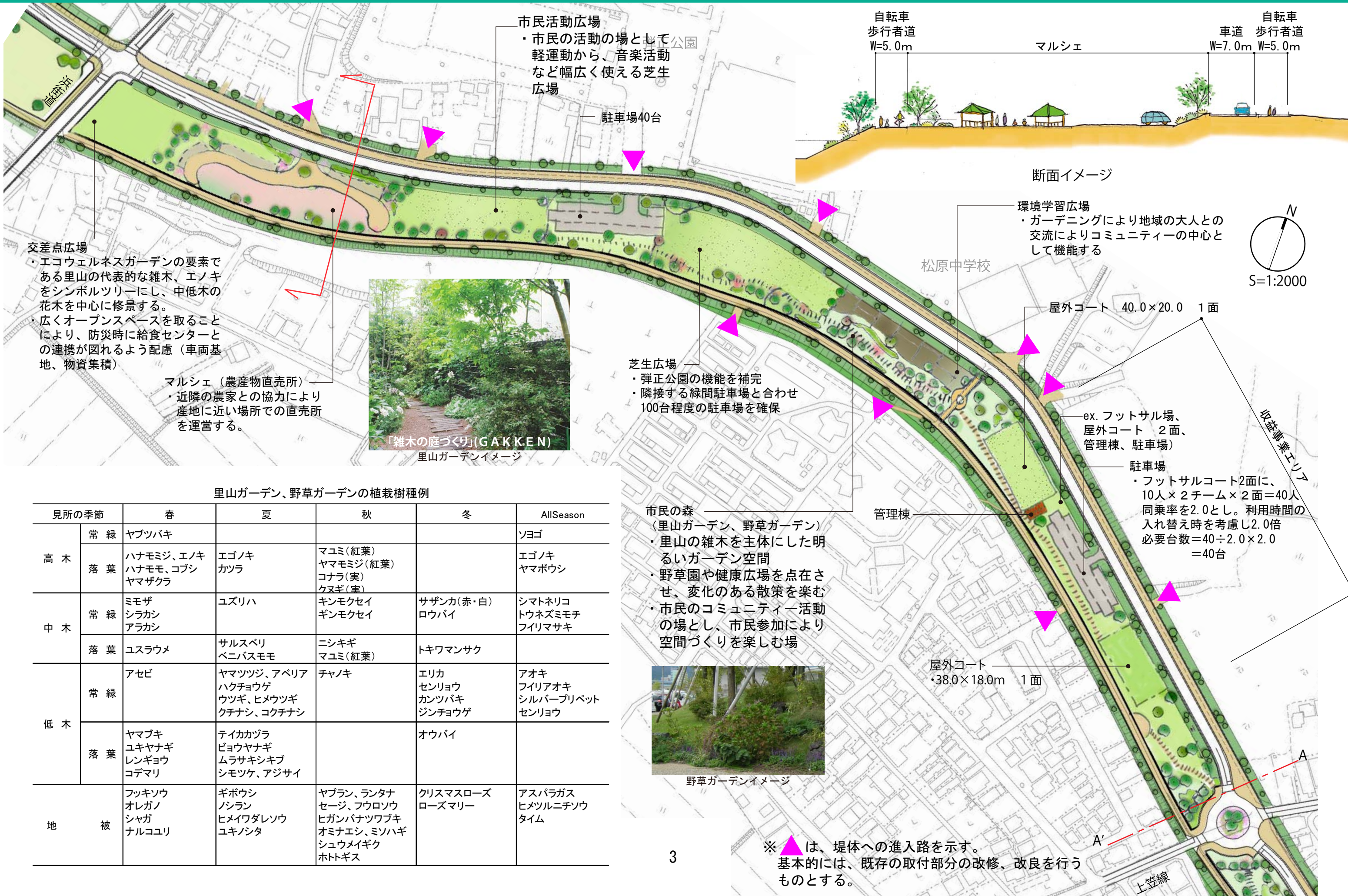
- ・農をテーマにした空間のシンボルとして人が美味しく食べられる木の実を付けるスタジイをシンボルツリーと位置づけ、食べられる植物たちを利用したハーブガーデンとして整備する。
- ・広くオープンスペースを取ることで、防災時に給食センターとの連携が図れるよう配慮（車両基地、物資集積）



学校活動イメージ



1. (1) 区間②～⑥の整備施設例と整備イメージ～区間③-1



交差点広場
 ・エコウェルネスガーデンの要素である里山の代表的な雑木、エノキをシンボルツリーにし、中低木の花木を中心に修景する。
 ・広くオープンスペースを取ることで、防災時に給食センターとの連携が図れるよう配慮（車両基地、物資集積）

マルシェ（農産物直売所）
 ・近隣の農家との協力により産地に近い場所での直売所を運営する。



芝生広場
 ・弾正公園の機能を補完
 ・隣接する緑間駐車場と合わせ100台程度の駐車場を確保

環境学習広場
 ・ガーデニングにより地域の大人との交流によりコミュニティーの中心として機能する

市民の森
 （里山ガーデン、野草ガーデン）
 ・里山の雑木を主体にした明るいガーデン空間
 ・野草園や健康広場を点在させ、変化のある散策を楽しむ
 ・市民のコミュニティー活動の場とし、市民参加により空間づくりを楽しむ場



屋外コート 40.0×20.0 1面

ex. フットサル場、屋外コート 2面、管理棟、駐車場

駐車場
 ・フットサルコート2面に、10人×2チーム×2面=40人同乗率を2.0とし。利用時間の入れ替え時を考慮し2.0倍
 必要台数=40÷2.0×2.0=40台

屋外コート
 ・38.0×18.0m 1面

見所の季節	春	夏	秋	冬	AllSeason
高木	常緑	ヤブツバキ			ソヨゴ
	落葉	ハナモミジ、エノキ ハナモモ、コブシ ヤマザクラ	エゴノキ カツラ	マユミ(紅葉) ヤマモミジ(紅葉) コナラ(実) クヌギ(実)	エゴノキ ヤマボウシ
中木	常緑	ミモザ シラカン アラカン	ユズリハ	キンモクセイ ギンモクセイ	シマトネリコ トウネズミモチ フイリマサキ
	落葉	ユスラウメ	サルスベリ ベニバサモモ	ニシキギ マユミ(紅葉)	トキワマンサク
低木	常緑	アセビ	ヤマツツジ、アベリア ハクチョウゲ ウツギ、ヒメウツギ クチナシ、コクチナシ	チャノキ	アオキ フイリアオキ シルバープリペット センリョウ
	落葉	ヤマブキ ユキヤナギ レンギョウ コデマリ	テイカカツラ ビョウヤナギ ムラサキシキブ シモツケ、アジサイ		オウバイ
地被	フッキソウ オレガノ シャガ ナルコユリ	ギボウシ ノシラン ヒメワダレソウ ユキノシタ	ヤブラン、ランタナ セージ、フウロソウ ヒガンバナツツバキ オミナエシ、ミソハギ シュウメイギク ホトギス	クリスマスローズ ローズマリー	アスパラガス ヒメツルニチソウ タイム

※ ▲ は、堤体への進入路を示す。
 基本的には、既存の取付部分の改修、改良を行うものとする。

1. (1) 区間②～⑥の整備施設例と整備イメージ～区間③-2

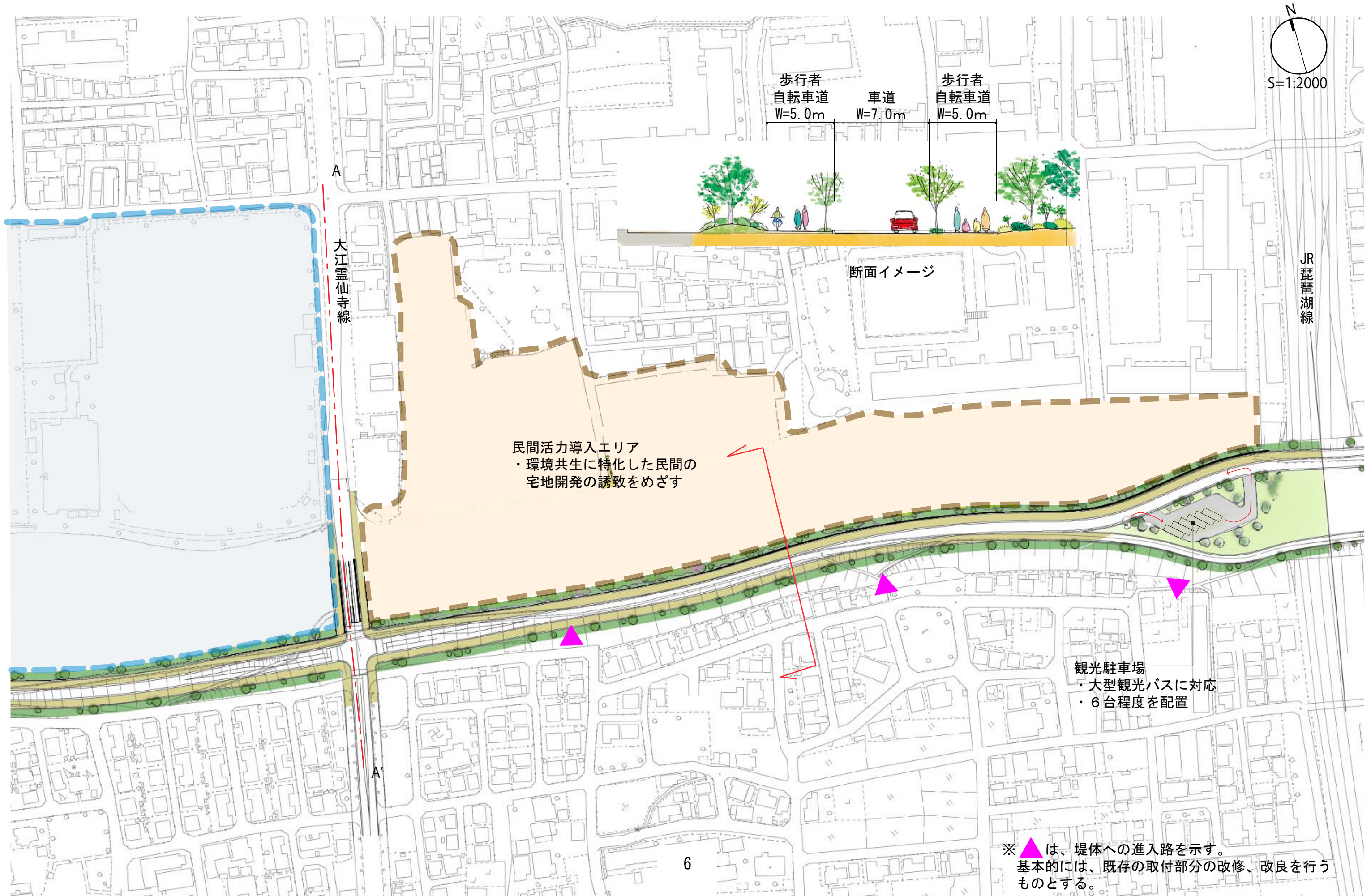




健康広場
 ・近隣の住区からの日常利用
 ・散策路、サイクリングロード
 利用者のための休憩スペース
 ・市民活動例
 コミュニティーガーデニング活動
 文化活動
 (ミニコンサート、屋外展示など)

※ ▲ は、堤体への進入路を示す。
 基本的には、既存の取付部分の改修、改良を行う
 ものとする。

1. (2) 区間②～⑥の整備施設例と整備イメージ～区間④-2



1. (1) 区間②～⑥の整備施設例と整備イメージ案～区間⑤

これまでの委員会の中で、「トータルデザインとして空間整備を考える」ことを決め、第3回ではトータルデザインにより「緑軸ーガーデンミュージアム」と提案しました。

ここでは区間5を例に「にぎわいの広場」を、四季のうつろいを感じることができるナチュラルガーデンの中に、オープンカフェやセレクトショップを配置し、イメージとして表現しました。

眺望点
◆草津川跡地の旧河川の河道方向に開ける眺望を活かす。

眺望点
◆旧堤防上から、草津宿本陣、旧街道の開けた眺望を活かす

眺望点
◆草津川跡地の旧河川の河道方向に開ける眺望を活かす

追分け
◆東海道、中仙道の分岐点「追分け」を中心に草津川の歴史性をアピール

道路？園路？
◆雑木の足下に多様な野草を植栽、花の色、葉の色、葉の形etc... 季節や時間により変化し続ける路傍の野草が、飽きない空間を彩ります。

上からのぞきこむ？
◆堤体からの視線にも配慮した細やかな植栽計画

小径の先には？
◆雑木林を抜けると…緑と木漏れ日の落ち着ける広場がある。人通りから少し離れて、落ち着いた一時を

ショップ、カフェ周辺は？
◆キッチンガーデン※を展開しハーブ類を楽しむ。ハーブティー、スパイスを販売する。週末はクッキングスクールを開き楽しみを覚える、拡げる。

高低差を利用？
◆立体的に空間を見せるロックガーデン、地形を利用して、色々なガーデンのバリエーションを楽しむ

街の中にもビオトープ？
◆街中だからビオトープです。水辺には、昆虫や鳥等の多様な生き物が集まります。もちろん人も！

食べ物にこだわる
◆草津川は、中心市街地から琵琶湖までつながります。下流に計画されるエコファームガーデンで作られた農産物をマルシェで販売

雑木林の庭づくり(GAKKEN)

季節のうつろい
多様な植物を植栽することにより季節の変化を楽しむ。

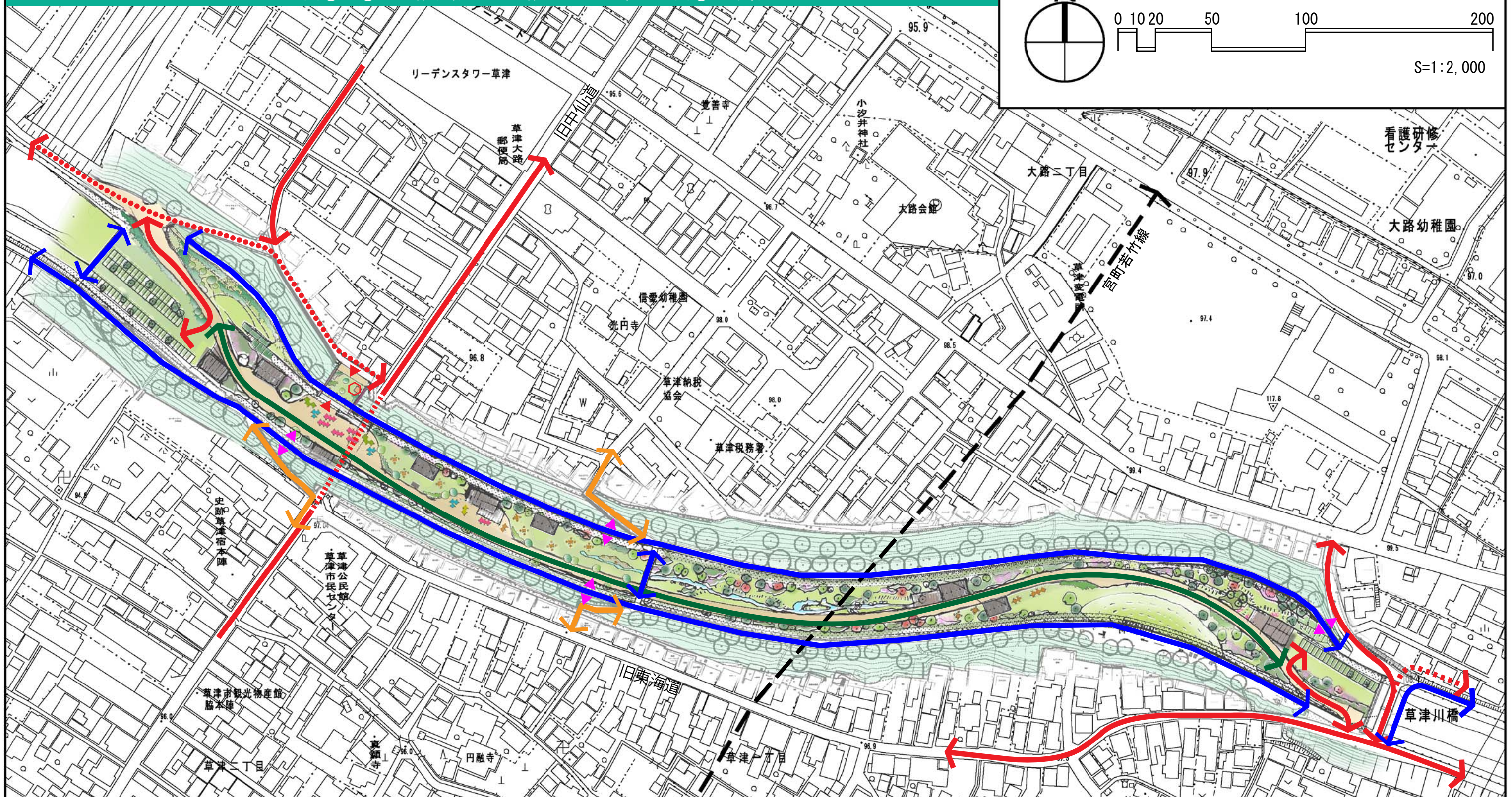
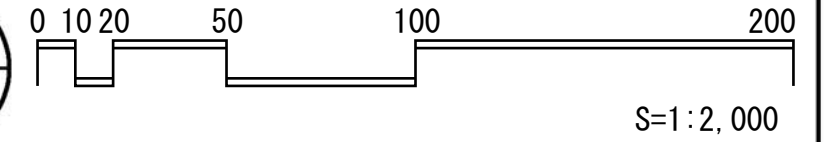
標準断面

秋の楽しみ？
◆雑木林は、コナラやヤマボウシ、ヤマモミジなど落葉広葉樹です、枝を彩る葉も綺麗ですが、落ち葉の絨毯も楽しみの一つ。

春 **初夏** **秋**

※のついた語句の解説は巻末を参照。

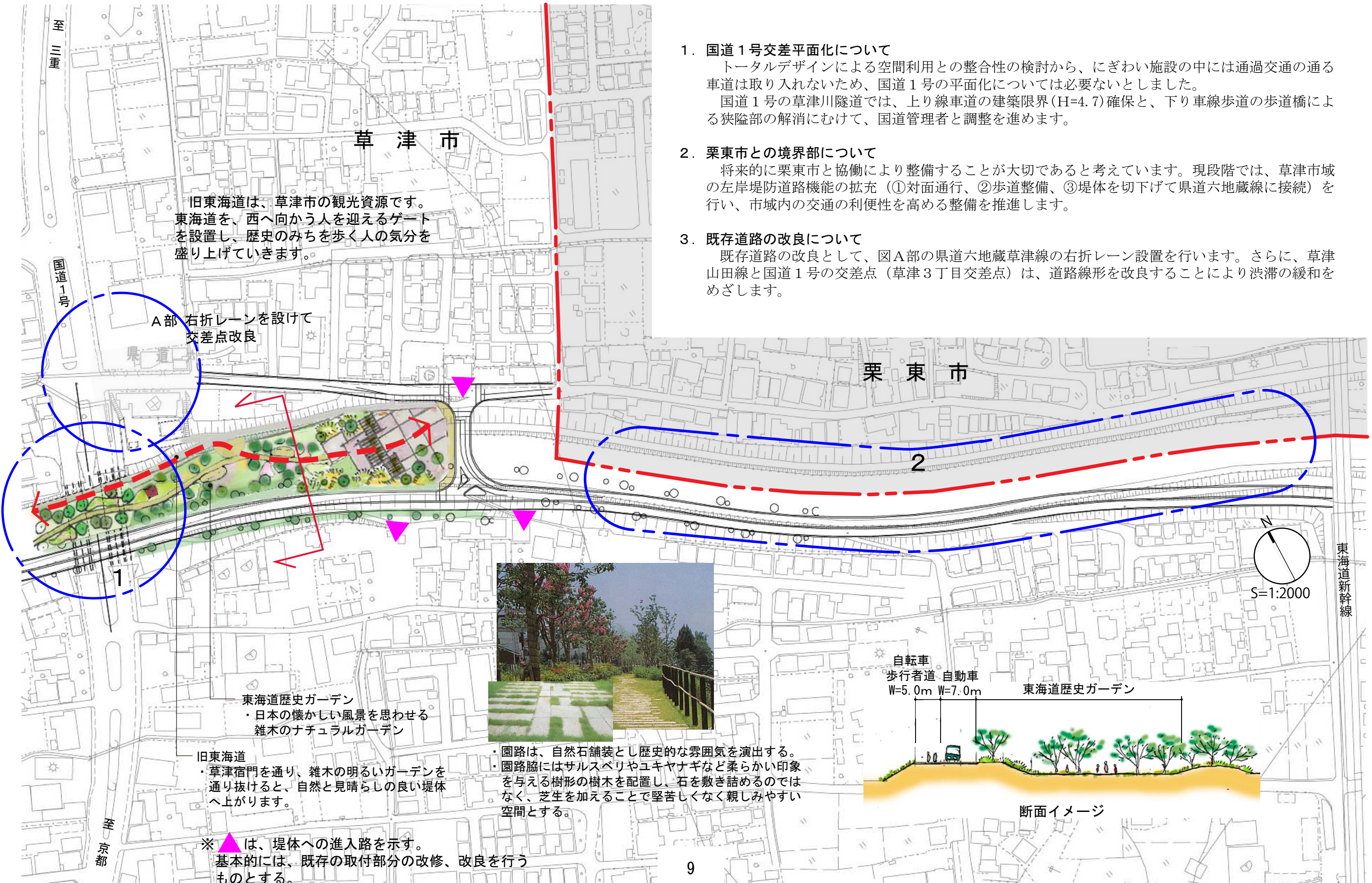
1. (2) 区間②～⑥の整備施設例と整備イメージ案～区間⑤の動線計画



凡	例
自動車動線	歩行者動線 (堤体切通部)
歩行者動線 (自動車は許可車のみ通行可)	建築物出入口
自転車・歩行者動線	エレベーターによるバリアフリー動線
自転車・歩行者動線 (階段+スロープ)	構造検討中の動線

※動線端部矢印は、動線方向を示す

1. (2) 区間②～⑥の整備施設例と整備イメージ～区間⑥



旧東海道は、草津市の観光資源です。東海道を、西へ向かう人を迎えるゲートを設置し、歴史のみちを歩く人の気分を盛り上げていきます。

A部 右折レーンを設けて交差点改良

東海道歴史ガーデン
・日本の懐かしい風景を思わせる雑木のナチュラルガーデン

旧東海道
・草津宿門を通り、雑木の明るいガーデンを通り抜けると、自然と見晴らしの良い堤体へ上がります。

※ ▲ は、堤体への進入路を示す。
基本的には、既存の取付部分の改修、改良を行うものとする。



・園路は、自然石舗装とし歴史的な雰囲気演出する。
・園路脇にはサルズベリやユキヤナギなど柔らかい印象を与える樹形の樹木を配置し、石を敷き詰めるのではなく、芝生を加えることで堅苦しくなく親しみやすい空間とする。



断面イメージ

1. 国道1号交差平面化について
トータルデザインによる空間利用との整合性の検討から、にぎわい施設の中には通過交通の通る車道は取り入れないため、国道1号の平面化については必要ないとしました。
国道1号の草津川隧道では、上り線車道の建築限界(H=4.7)確保と、下り車線歩道の歩道橋による狭隘部の解消にむけて、国道管理者と調整を進めます。
2. 栗東市との境界部について
将来的に栗東市と協働により整備することが大切であると考えています。現段階では、草津市域の左岸堤防道路機能の拡充(①対面通行、②歩道整備、③堤体を切下げて県道六地藏線に接続)を行い、市域内の交通の利便性を高める整備を推進します。
3. 既存道路の改良について
既存道路の改良として、図A部の県道六地藏草津線の右折レーン設置を行います。さらに、草津山田線と国道1号の交差点(草津3丁目交差点)は、道路線形を改良することにより渋滞の緩和をめざします。